

I はじめに

千葉県水道局では、約300万人のお客様に水道水を毎日お届けしておりますが、24時間いつでも蛇口から水道水が出るようにするためには、その過程で環境に対して大きな負荷をかけてしまいます。

水道水の原料となる水(原水)は、利根川、江戸川、印旛沼、高滝ダムから取り入れておりますが、原水を浄・給水場で水道水に加工し、お客様にお届けするまでの間には電気などのエネルギーを多く使用しなければなりません。

また、浄水場では原水から取り除いた水の汚れ(汚泥)が発生し、水道管の埋設工事の際には建設廃材や建設発生土が発生してしまいます。

当局では、環境への負荷を減らすために、省エネルギー型機器の導入、太陽光発電パネルの設置、給水場に流入する水圧を利用したマイクロ水力発電の導入、浄水汚泥や建設発生土などのリサイクルの推進などに計画的に取り組んでいるところです。

この環境報告書は、このような当局の環境施策について紹介するとともに、その取組成果について数値指標を用いて公表するものであり、第三者審査機関による審査・保証のもとに、平成17年度から毎年発刊しているものです。

千葉県水道局は「環境に優しい水道」を推進し、これからも安全で良質なおいしい水をお客様にお届けしてまいります。

平成24年2月 千葉県水道局長 名 輪 淑 行